

❖ IPA、「情報セキュリティ10大脅威2022」を公開 ❖

IPA(独立行政法人情報処理推進機構)が、「情報セキュリティ10大脅威2022」を公開しました。

組織の順位では、10の脅威のうち9個が昨年と同じでした。昨年8位だった「インターネット上のサービスへの不正ログイン」に替わって、「修正プログラムの公開前を狙う攻撃(ゼロディ攻撃)」が初登場で7位となりました。ゼロディ攻撃は、修正プログラムが提供される前の脆弱性を悪用した攻撃です。2021年12月にはJava用のログ出力ライブラリである「Apache Log4j」の脆弱性対策情報が、すでに攻撃が観測されているとの情報と同時に公開されました。「Apache Log4j」は、ウェブサイトのバックエンドにあるウェブサーバーなどで行われた操作を記録する機能をもつプログラムの部品のようなもので、世界中のプログラムで広く使われているため、大きな話題となりました。ゼロディ攻撃の場合、修正プログラムが提供された時点ですでに攻撃が行われているため、脆弱性対策に加え、外部からの侵入を検知/防御する機器を導入するなどの備えが重要です。

組織の1位は、昨年に引き続き「ランサムウェアによる被害」でした。2021年も国内の企業や病院などのランサムウェア被害が報道され、大きな話題となりました。近年のランサムウェア攻撃は、標的型攻撃と同様の手法で企業・組織のネットワークに侵入したり、データを暗号化するだけでなく窃取して公開すると脅したりして、身代金を払わざるを得ないような状況を作り出します。標的型攻撃と同等の技術が駆使されるため、この攻撃への対策は、例えば、ウイルス対策、不正アクセス対策、脆弱性対策など、基本的な対策を、確実かつ多層的に適用することが重要です。また、どの組織でも被害に遭う可能性があることを念頭において、バックアップの取得や復旧計画を策定するなど、事前の準備が重要です。

■「情報セキュリティ10大脅威 2022」

NEW : 初めてランクインした脅威

昨年順位	個人	順位	組織	昨年順位
2位	フィッシングによる個人情報等の詐取	1位	ランサムウェアによる被害	1位
3位	ネット上の誹謗・中傷・デマ	2位	標的型攻撃による機密情報の窃取	2位
4位	メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求	3位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	4位
5位	クレジットカード情報の不正利用	4位	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃	3位
1位	スマホ決済の不正利用	5位	内部不正による情報漏えい	6位
8位	偽善告によるインターネット詐欺	6位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	10位
9位	不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	7位	修正プログラムの公開前を狙う攻撃(ゼロディ攻撃)	NEW
7位	インターネット上のサービスからの個人情報窃取	8位	ビジネスメール詐欺による金銭被害	5位
6位	インターネット/バンキングの不正利用	9位	予期せぬIT資産の障害に伴う業務停止	7位
10位	インターネット上のサービスへの不正ログイン	10位	不注意による情報漏えい等の被害	9位

- 「IPA (独立行政法人 情報処理推進機構) ホームページ」より -

* 今月の豆知識 * ~ サウナブーム ~

ここ数年、サウナ好きの方が急増し、幅広い年齢層でサウナがブームになり、有名人や芸能人にもサウナ好きを公言している方が沢山います。

全国のサウナ愛好家を『サウナー』と呼び、サウナー達は、サウナで究極の多幸福感を味わうべく、『ととのう』瞬間を日々追い求めています。

サウナ用語の『ととのう』というのは、『サウナ→水風呂→休憩(外気浴)』の温冷交代浴を3~4セット繰り返すことで、体内の血流が良くなり、酸素が脳を駆け巡って深いリラックス状態になることです。

* サウナ効果 *

サウナ浴は、疲労回復、ストレス解消、肩こりや腰痛の改善、安眠効果、汗腺や皮脂腺が清潔になるなどの、美容や健康への様々な効果が期待できるそうです。

* サウナ注意点 *

こまめな水分補給をする、飲酒後や食後は避ける、長時間の利用は避ける、体調が悪いときは避ける。

サウナ効果には個人差があると思いますが、今ブームのサウナで『ととのう』を体験してみてもいいのではないでしょうか(^^)





赤松事務機株式会社
代表取締役 片松 保佳

『社長のつぶやき』

VOL.51

二月になりました。真冬らしく寒い日々が続いておりますが、体調を崩されたりしてありませんでしょうか？うがい・手洗い・普段のマスク装着を励行して健康な日々をお過ごし下さい。

昨日、北京オリンピックに出場されたフィギュアスケートの羽生結弦選手の記者会見をTVで見ました。そして各キー局のインタビューも報道されておりました。ご覧になられた方も多いと思いますがとても心打たれる内容でしたので取り上げたいと思います。私なりに要約したものですので原文そのままではないですがご容赦下さい。

「前日の練習で捻挫をしていたので普段なら棄権する状態でした。でも痛み止めを打って出場しました。」

「この場（オリンピックの場）で4回転半を飛ばないと羽生結弦ではない。実はジャンプの形は9歳の頃から変わってないんです。9歳の自分が飛べと僕に言っていました。」

「とてつもなく努力しましたが、結局その努力は報われませんでした。無駄な努力に終わりました。しかし、4回転半認定からの減点という結果は自分の誇りです。自分の100%の力を出せたと思います。しかし、報われない努力を続けて、自分のやりたい形を貫いて、オリンピックという最高の場でスケートをやり切ったことは自分の中ではとても誇りに思います。」

「ずっと4回転半に挑戦し続けました。私はスケート選手なので挑戦することが4回転半だったのですが、人は皆、挑戦し続けているのだと思います。スポーツだろうが仕事だろうが、普段の生活においても大なり小なり挑戦することだけだと思います。だから人生は挑戦することだと思います。挑戦していない人なんていないはずですよ。」

誰も知っている超一流のアスリートが人生をかけた挑戦を終えた後に発する言葉は説得力が違います。インタビューを聞いて本当に感動しました。インタビュアーに対する受け答え・お辞儀の仕方・周りの人に対する気遣い、すべてが超一流でした。特に「挑戦していない人なんていないはずですよ。」その言葉に心を動かされました。そうだな、羽生選手の言う通り、よく考えてみると自分自身も大なり小なり普段の生活の中で挑戦しているのかもなと勇気づけられました。

なかなか羽生選手のようにはなれないですが、自分なりに自分のフィールドで小さな挑戦を続けて行こう、そしてその辿ってきた道を後から振り返って誇りに思えるように日々過ごしていこう、そんな小さな決意を羽生選手からいただきました。

IT用語

知っておいて損はしない！かも・・・

■ Y2K ■

『Y2K』とは、『2000年問題』の略語で、西暦2000年になるとコンピューターが誤作動する可能性があるとしてきた年問題のことです。

西暦2000年以前に開発・運用されていたコンピューターシステムの一部が日付データの年号部分を西暦の下二桁で管理しており、1999年から2000年になると同時に一斉に異常が生じ社会を混乱させるとされた問題です。

また最近では、ファッションの分野などでも『Y2K』という表現がされており、『Y2Kファッション』とは、Z世代（1990年代半ば～2000年代終わりに生まれた世代）に人気のファッションで、2000年代に流行した、クロップド丈のトップスや、厚底などのファッションのことを指します。

弊社では、情報セキュリティ対策商品、UTM(統合脅威管理)等の取扱いをしております！
HPでも紹介しておりますのでぜひご覧頂ければと思います！！
対策は早目にしましょう！

